

新型コロナウイルス感染症に関する 緊急対策【第5弾】

関連予算は第3回定例道議会に提案中

緊急対策【第5弾】の基本的考え方

- ▶ 推進中の緊急対策（第1弾～第4弾）と連動しながら、**感染拡大防止と社会経済活動の両立**に向け、総合的な対策を実施
- ▶ 発熱患者の増加や消費の落ち込みなど、**秋冬に懸念される事態**も想定した対策の推進

今回の対策予算額 2, 9 4 6 億円

対策予算額累計(第1弾～第5弾) 8, 0 3 4 億円

緊急対策【第5弾】の柱

- 1 今後の感染拡大に備えた
医療提供体制等の充実強化**
- 2 経済活動の継続と段階的拡大**
- 3 社会生活・文化活動の継続と
安心の確保**

■ 検査・医療提供体制の充実強化 40.9億円

**秋冬において増加する
発熱患者への対応**

医療機関内のゾーニングや、
個人防護具購入などに要する
経費を支援



**発熱患者を地域で円滑に
診療・検査できる体制の整備**

**早期に入院受入を行った
医療機関の経営安定**

国の交付金対象外の期間
(R2.2~3月)に入院患者を
受け入れた医療機関を支援



**感染症対策の体制維持・
地域の医療体制を支援**

■ 当初3年間無利子・保証料減免の制度融資枠拡大

2,798億円

5/1~

7/6~

拡充後

融資枠
3,000億円

融資枠
1兆円

融資件数
27,078件
融資金額
5,578億円

(7月末時点)

融資枠
1.5兆円

融資限度額
6,000万円

道内中小企業の事業継続に向けて
十分な資金を供給

■ 雇用・人材確保対策

8.8億円

▶ 人手不足が深刻な業種への異業種からの就職を支援

コロナ禍により離職した方が、建設、介護・福祉、農林漁業等に就職

- 就職した方へ**30万円+転居費用（上限20万円）**を支援
- 雇用した道内企業へ**30万円**を支援



▶ 外国人技能実習生等の入国後の待機費用を支援

水際対策のため、入国後14日間の公共交通機関不使用、ホテル待機

- 外国人技能実習生等を受け入れる道内企業が負担する**最大14日間の待機費用**を支援



■ テレワークの普及・定着支援 1.4億円

テレワーク 普及状況

一定程度普及が進んだものの、**全国平均を下回っている**

感染症拡大前から導入	4.3%
〃 拡大後に導入	16.4%

合計 **20.7%** (道6~7月調査)
〔全国平均 **25.7%**〕 (民間調査)



中小企業者におけるテレワークの 普及・定着を支援



テレワーク導入のための

機器整備等を支援
(補助率3/4、上限65万円)

テレワーク運用上の
課題に関する

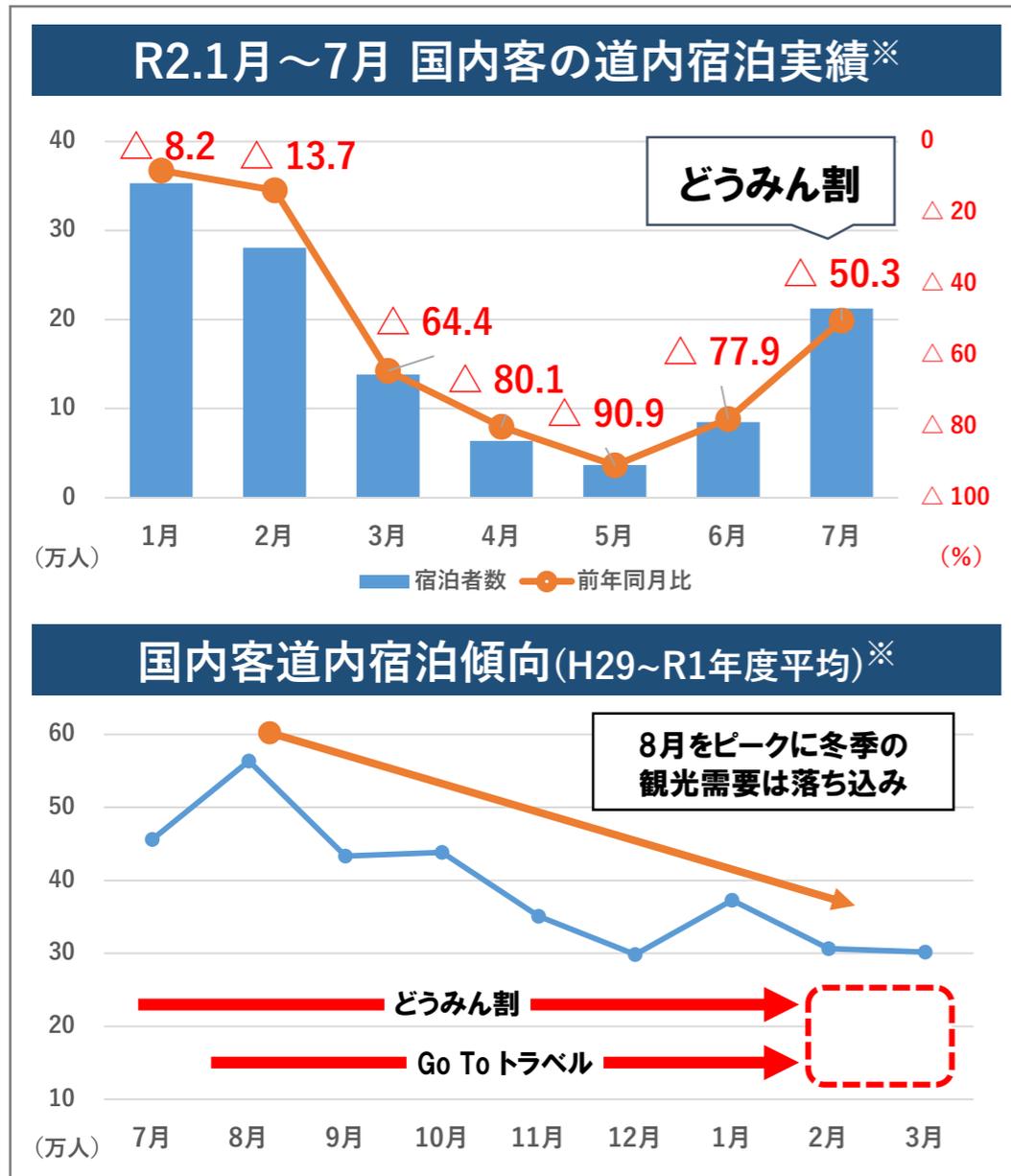
**マニュアルの
作成・配布**

相談対応や
実践結果の共有を行う

実践塾の開催

道内旅行商品割引（どうみん割^{ぶらす}）

割引総額 約26億円



GoToトラベル (~R3.1.31) 終了後の
観光需要を喚起するため、
どうみん割^{ぶらす}を実施

対象	道民の道内旅行
割引額	旅行商品の最大半額 (最大1万円)
実施時期	R3.2～3月

離島はさらに「りとう^{ぶらす}」
今秋開始、さらに割引率を10%^{ぶらす}+

※「日本旅館協会 北海道支部連合会」による会員約100施設の調査結果を基に道が作成

■ 安心して学習できる環境の整備

16.4億円

道立学校における感染防止と学習の保障の取組を実施

感染防止 対策

- ・ 消毒液、フェイスシールド等の整備
- ・ サーキュレーター等換気対策備品の整備
- ・ 保健室への換気機能付きエアコン設置
- ・ 普通教室等への網戸設置
- ・ トイレ洋式化、センサー付きトイレ照明等の設置



学習の 保障



- ・ 家庭学習用教材、デジタル教材ライセンス等の整備
- ・ 空き教室活用のための備品整備
- ・ 教員用タブレット端末等のICT機器の整備

全ての道立学校において、規模や整備状況を踏まえ実施